

— 施工要領書 —

『モスソイル』練り工法

【施工手順】

0 1. 下地処理

下地は雑草や障害物を取り除き砕石・砂を入れてから十分に転圧をかけてください。

0 2. 材料練り込み

「モスソイル」と水をミキサーなどで練り込みます。

※混合割合…含水率 16~18%/モスソイル 25kg(1袋) : 水 4~4.5kg(4~4.5ℓ)

※練り込み時間…約 6~8 分 (練り込み時、ダマが出来やすいので時々手でほぐしてください)

※乾燥が激しい時は含水率を 17~18%まで上げてください。

0 3. 材料敷き均し・転圧

練り込んだモスソイルをそのままコテで転圧し仕上げます。

0 4. 養生・完成

固まるまで数日かかります (3~7 日程度。季節ごとで差異あり)。完全に固まるまでは重いものを載せたり、先のとがった物で突いたりしないようにしてください。

※表面剥離防止のため、冬季 5℃以下の場合は、養生してください。

【施工ポイント】

- ① 下地整正し、砕石 C=40mm を敷き固め、その後、砂目で見つぶしします。(砕石は t=120 mm 以上)
- ② ソイル練り工法 (モルタル工法と同等) ; モスソイルは 50mm 以上
モルタルミキサーにモスソイルと水を入れ攪拌します。水分量が多すぎると固化した後に表面が白くなってしまう場合がありますので十分注意してください。また、混合水分量を少なくした場合は、敷き均し完了後直ぐに再度散水して下さい。
その後、現場でソイルを敷き、表面は木ゴテ・金ゴテで仕上げます。目地は木・ゴムなどを均等に入れてください。
※下地…メッシュ(40 mm 浮かす)/モスソイル 80 mm で大型可/参考強度 : 13N/mm²
- ③ 法長が長い場合は 1~1.5m ピッチ程度で土留めを使用してください。
法幅が長い場合でも 3~5m ピッチ程度で目地を入れてください。

〒101-0025

東京都千代田区神田佐久間町 3-23

スタウトビル 6F



MITSUISHI

三石物産株式会社